

令和7年度那珂川町総合教育会議 議事録

那珂川町長 益子純恵は、令和8年1月22日午後1時30分、那珂川町役場において令和7年度那珂川町総合教育会議を招集した。

出席者 (構成員)	町長 益子 純恵 教育長 吉成 伸也 教育委員 佐藤 寿 渡邊 芳枝 木村 輝昭 山田 剛
欠席者(構成員)	なし
構成員以外の 出席者(事務局)	学校教育課長 熊田 則昭
	生涯学習課長 齋藤 昌代
	学校教育課課長補佐兼指導主事 石川 佳広
	学校教育課長補佐兼指導主事 鶴田 奈穂子
	生涯学習課課長補佐 川上 浩
	学校教育課長補佐 橋本 秀一
	学校教育課学校管理係長 五月女 倫子
	生涯学習課スポーツ振興係長 菊池 良
傍聴人	1名
協議事項	(1) 教育大綱・教育振興計画について
	(2) 学校規模適正化について
会議の内容	開会宣告 学校教育課係長 (午後1時30分開会)
1 開会	
2 あいさつ	<p>皆さん、こんにちは。令和7年度那珂川町総合教育会議にご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>教育委員の皆様には、本町の教育はもちろん、町政全般にわたりまして、日頃よりご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。</p> <p>町では、令和3年度から令和7年度の5年間を計画期間とする「第2次那珂川町総合振興計画 後期基本計画」に基づき、各種施策を展開しており、来年度から新たな「総合振興計画」を定め、令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とする「前期基本計画」を基に各種施策を推進していけるよう、庁内で調整を図っています。</p>

	<p>町としては、将来を担う子供たちにより良い教育環境を提供することはもちろんのこと、地域の方々が幸せや生きがいを実感し、那珂川町に住んで良かったと思ってもらえる、まちづくりを進めていきます。</p> <p>学校教育や生涯学習に関することはもちろんのこと、様々な面で委員の皆様には、お世話になるとは思いますが、今後ともご理解とご協力をお願いしたいと思っております。</p> <p>本日開催いたします総合教育会議は、毎年、教育委員の皆様と共に様々な教育施策に関し、自由に意見を交換させていただく貴重な場であります。</p> <p>本日は、「教育大綱・教育振興計画について」及び「学校規模適正化について」の2つの議題をご提案させていただきます。</p> <p>本年も委員の皆様のお寄せの忌憚のないご意見をお聞かせいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
3 協議事項	(進行：町長)
町 長	<p>それでは、私が進行を務めさせていただきますが、まず初めに、議題1、教育大綱・教育振興基本計画について学校教育課の説明を願います。</p>
学校教育課 課長 補佐	<p>議題設定の理由について説明します。</p> <p>町では、第2次那珂川町総合振興計画後期基本計画に基づき、まちづくりに関する各種政策を展開している。しかし、現在の「第2次那珂川町総合振興計画後期基本計画」は、今年度が計画の最終年度に当たることから、令和8年度を初年度とする「第3次那珂川町総合振興計画前期基本計画」の策定を進めている。</p> <p>教育委員会でも令和8年度から新たな5年間の、教育行政の方向性を示す「教育大綱並びに教育振興基本計画」について、第3次那珂川町総合振興基本計画に基づき策定を進めてきた。国の方針では、これからの教育について、学校・家庭・地域が連携し、持続可能な社会の創り手になる人材のほか、地域や社会が幸せや豊かさを実感できるウェルビーイングの視点をもった教育の在り方を求めている。</p> <p>今回策定を進めている新たな「教育大綱・教育振興基本計画」では、国の方針を踏まえ、学校教育と社会教育のそれぞれに「基本理念」を設</p>

	<p>定することとした。学校教育の基本理念として、「ふるさとを想い、多様性社会の中で未来を描き、地域社会の担い手となる人づくり」。社会教育の基本理念として、「共に学び支え合い、誰もが豊かさを感じることができる地域づくり」の2つの基本理念を設定した。</p> <p>「基本理念」を具現化するため、分野ごとに7つの「基本施策」を定め、各施策に評価指標を設定した。施策1「学校教育の充実」、施策2「生涯学習の充実と社会教育への支援」、施策3「スポーツの振興」、施策4「文化芸術の振興及び文化財の活用」、施策5「地域間交流・連携の強化」、施策6「多様性社会の実現に向けたまちづくりの推進」、施策7「教育環境の整備」を掲げて計画を推進していくこととした。</p> <p>今後5年間の教育行政の指針となる教育大綱の「基本理念」及び「基本施策」について、よりよい計画となるようご意見をいただきたい。</p>
町 長	<p>それでは皆さんから、基本理念について意見をいただきたいと思います。学校教育及び社会教育の視点から、2つの基本理念が示されているが、委員の皆様は、どのように考えているか。</p> <p>〇〇委員、どのようにお考えですか。</p>
委 員	<p>基本理念が分かれています、わかりやすいと思う。計画に沿って策定、その後の点検評価等も含めると非常にわかりやすく、構成されている。内容は、検討されているので、こちらの計画でいいと思う。</p>
町 長	<p>〇〇委員は、何か意見はありますか。</p>
委 員	<p>時代の流れに合わせ、多様性社会の中で未来を描きという言葉を入れながらも地域社会の担い手になってほしいという思いが込められていて、全ての思いが含まれていると思うので、こちらの計画でいいと思う。</p>
町 長	<p>〇〇委員は、何か意見はありますか。</p>
委 員	<p>こちらの計画でいいと思う。</p>
町 長	<p>〇〇委員は、何か意見はありますか。</p>
委 員	<p>こちらの計画でいいと思う。</p>
町 長	<p>〇〇委員から、前回の計画では、基本理念が1つであったが、今回の計画では、学校教育と社会教育に分かれています、わかりやすく示されて</p>

	<p>いると意見をもらった。〇〇委員からは、時代の流れに即して、多様性や地域社会の担い手となる人づくりについても盛り込んでいると意見をいただいた。</p> <p>続いて、基本施策についてご意見をいただきたい。〇〇委員は、何か意見がありますか。</p>
委 員	<p>目次9 施策5 地域間交流・連携の強化では、(1) <u>国際交流</u>の充実(2) <u>国内交流</u>の充実の順番になっている。P4、<基本施策>5 地域間交流・連携の強化では、地域活性化のための<u>国内交流及び国際交流</u>の充実の順番になっている。国際交流と国内交流の順番が、変わっているのは、何か意図することがあるのか。</p>
町 長	<p>事務局の意見は、どうか。</p>
学校教育課 課長補佐	<p>特段意味はない。整合性を図るためP4「5 地域間交流・連携の強化」中、国内交流と交際交流の文言を修正したい。</p>
町 長	<p>〇〇委員は、何か意見はありますか。</p>
委 員	<p>こちらの施策でいいと思う。</p>
町 長	<p>〇〇委員は、何か意見はありますか。</p>
委 員	<p>こちらの施策でいいと思う。</p>
町 長	<p>〇〇委員は、何か意見はありますか。</p>
委 員	<p>施策3 スポーツの振興と施策4 文化芸術の振興及び文化財の活用には、部活動も含まれているのか。</p>
町 長	<p>事務局の説明をお願いします。</p>
生涯学習課 課 長	<p>施策3 スポーツの振興は、中学校の部活動も含む。施策4 文化芸術の振興及び文化財の活用については、中学生の文化部ではなく、大人を対象としており、文化協会などが該当する。</p>
委 員	<p>放課後の活動は、小中学生にとって、とても重要。アメリカでは、運動やゲームができる室内施設が出来て、薬物犯罪が減少したと言われている。子どもたちが“これをやりたい”や“楽しいな”と思える活動が出来るようにしていくべきだと思う。子どもの不眠症の原因の一つに運動不足がある。運動だけでなく芸術活動も出来るように整備していくべ</p>

	<p>きだと思う。放課後の活動は、先生方の負担という話もあるが、教育の根幹だと思う。未成年犯罪を減らす意味でも重要になる。また、子どもたちの健康面でも重要になるので、進めてもらいたい。</p>
町 長	<p>教育長、今後、検討していただけるのか。</p>
教 育 長	<p>子どもたちの放課後の活動場所は、非常に重要である。しかし、少子化の影響で、活動をしたくても子どもが集まらない、集まらない状況になっている。その状況を是正するために部活動の地域移行を進めている。部活動だと特定の分野になってしまい、本町で、自分の持っている資質や能力を発揮できるかという点も難しい点もある。スポーツ面だけでなく、文化面でも天候等に左右されない活動場所の確保も本計画に盛り込み、政策として実現できればいいと考えている。</p>
町 長	<p>はい。ありがとうございます。他にご意見は、ありませんでしょうか。</p> <p>基本理念については、2つに分かれているので、分かりやすく、時代に即した理念が作られているという意見をいただいた。基本施策についても意見を参考にしながら、今後様々な施策の展開に繋げていければと思いますので、よろしくお願いを申し上げます。</p> <p>以上で、議題1「教育大綱・教育振興基本計画について」を終了します。</p>
町 長	<p>続いて、議題2「学校規模適正化について」、事務局の説明をお願いします。</p>
学校教育課 課 長	<p>昨年度の総合教育会議の中で、少子化への対応について議題とし、皆様からご意見を伺った中で、学校規模の在り方について検討すべき時期に来ているという意見をいただいた。そのことを踏まえ、令和7年7月に第1回学校規模適正化検討委員会を立ち上げ、検討を始めたところである。委員会では、これからの子どもたちへの教育の方向性や地理的条件など、様々な視点からこれからの学校教育と学校規模について意見をとりまとめているところであり、令和8年度からの次期教育振興計画の基本施策においても学校規模の適正化についての議論を進めることを明記した。本日は、これまでの会議での協議事項について報告するとともに、協議の内容について質疑を行い、共通理解を図ることとしたいと</p>

	<p>考えている。</p> <p>資料1では、第1回目の検討委員会について説明を行った。検討委員会の委員には、町議会の代表、地域の代表、小中学校の代表、保護者代表、学識経験者の18名に委嘱している。委員長には白鷗大学教授、副委員長には県総合教育センター長にお願いしている。教育長から委員長に諮問書を渡し、(1)町立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本的な考え方について(2)町立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する具体的施策についての2点を諮問した。その後、那珂川町学校規模適正化検討委員会設置要項を説明し、その後、各小中学校の児童生徒数の推移や建物の状況などの那珂川町の現状と課題を説明した。第2回目の検討委員会資料に第1回目の検討委員会の議事録を添付した。</p> <p>資料2では、第1回目の検討委員会の議事録と検討委員から那珂川町と同じような事例があれば教えてほしいという意見があったので、他市町の学校規模適正化検討委員会の実施状況等についてと小中一貫教育に関する学校の種別について説明した。第2回検討委員会から、協議題を設定し、本町におけるこれからの学校教育のあり方について委員から意見をいただいた。協議題の視点は、少子化が進む中、今後どのような子どもを育てていくべきかとした。第3回目の検討委員会資料に第2回目の検討委員会の議事録を添付した。</p> <p>資料3では、第2回目の検討委員会の議事録と各学校における施設設備の状況等と児童生徒の通学状況等について説明した。第2回の検討委員会で、保護者や児童生徒にアンケートを取ってみたいかどうかという意見があったので、アンケートについても説明した。また、協議題を設定して、本町におけるこれからの学校教育のあり方について委員から意見をいただいた。第3回目の検討委員会の前に、馬頭東小学校で授業の見学を行い、5名の委員に参加していただいた。検討委員の意見やアンケートの結果を基に、今後、検討を進めていく旨を説明した。</p>
町長	<p>「議題2 学校規模適正化について」、意見や検討委員会で検討してほしい内容がありましたらお願いします。</p> <p>〇〇委員は、何か意見はありますか。</p>

委員	<p>検討委員の皆様が協議を重ね、様々な意見や気持ちが、これからの協議に繋がっていくと思う。全国的に、那珂川町と同規模の自治体でも同じように課題を受け止め、進めていくことになる。今後、学校規模適正化検討委員会では、この先、数年の時間を要することになると思う。国でも学校規模適正化について示しているが、時代に合わなくなっている。国の基準を満たしていない学校が、多数である。今後、国も学校規模について、何らかの動きがあるのではないかと思う。</p>
町長	<p>貴重なご意見を頂戴いたしましたけれど、国の示す規模が現状に合っていないという意見であった。今後、国が示す指標によって、町の在り方も変わってくると思うので、しっかり情報収集をしながら進めていきたい。</p> <p>〇〇委員は、何か意見はありますか。</p>
委員	<p>資料3、アンケート “6（3）今のクラスの人数はどうですか。” に対して、回答が、“多い” “ちょうどいい” “少ない” の選択肢である。学校によって人数が異なるため、通っている学校によって判断するのか。</p> <p>また、アンケート 7（4）で、“子どもにとって望ましい1学年あたりのクラス数” の質問に対し、1学年あたりのクラス数が選択肢にあるが、人数は、記載しないのか。人数を記載して、明確にした方がいいと思う。</p>
学校教育課長	<p>アンケートでは、学校名と学年の回答で、現在のクラスの人数が分かるので、回答者が“多い”と感じているか“少ない”と感じているかが分かる。</p> <p>1学年あたりのクラス数の後に、人数を明記した方がいいという意見は、学校規模検討委員会の中でも同じ意見をいただいた。1学年あたりの1クラスの人数は、35人までであり、36人以上は、2クラスになるような旨を、クラスの後に明記し、アンケートを実施したいと思う。</p>
町長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>〇〇委員は、何か意見はありますか。</p>
委員	<p>アンケートの質問が、全体的に良い方向にしか書かれていないので、</p>

	<p>ネガティブな質問も入れたほうがいいと思う。ネガティブな点を解決していかないと、新しく変わっていかない。いじめ等の質問を明記することにより、クラスの問題についても多少、分かると思う。簡単に意見を書いてもらおうといいと思う。</p>
町 長	<p>そういったご意見も踏まえて、今後検討していただきたいと思います 〇〇委員は、何か意見はありますか。</p>
委 員	<p>自分が子育てをしてきた中で、ほんの少し個性が強い子どもは、小規模校出身者が多いような感じがする。大人数での学校生活の経験が少ない子どもは、友達が作りにくかったり、馴染めなかったりすることが多かった。そのようなことは、人数と関係があるのかと思う。人数が少ないと、先生の目が届きやすいが、子どもの社会の中で、意見の偏った考えが構築されてしまう可能性があるのかなとも思う。もし、関係があるのであれば、早く手を打った方が、子どもたちのためになる。しかし、大人数の中で揉まれて生活することがいいかというのも分からない。町としては、いろいろ大変なことがあると思うが、子どもたちをメインに考え、進めてほしい。</p>
町 長	<p>ありがとうございます。 揉まれて育つのが良いのか悪いのか。や子どもをメインに考えてほしいという意見をいただいた。 教育長、何かありますでしょうか。</p>
教 育 長	<p>〇〇委員からは、文部科学省から学校規模や適正配置について示されているが、大多数の学校は、文部科学省の推奨する学校規模ではないという意見をいただいた。文部科学省でも令和3年・令和7年に学校規模・適正配置の在り方について検討を始めた。昨年3月に文部科学省から最初の資料が、公表になったが、具体的な学級数が示されていないので、現時点では、平成27年に示された学校規模が基準になっている。昨年公表された資料では、それぞれの地域の実情に応じて、学校を適正に配置していくこととしか明記されていない。何が一番重要で、これからの本町の子どもたちをどのように育て、教育していくか、どのような教育環境を整えていくかを皆さんで話し合っ、共通理解を図り、その</p>

	<p>教育方針に沿って学校を適正に配置していくとなると理解している。コロナ流行後、タブレット PC が一人一台配置になった。このことは、教育界にとって画期的なことで、実際の学習活動が大きく変わるきっかけになった。少人数の学校でも、インターネットを通して、大規模校の子どもたちと同じような授業を受けられる環境になってきた。これは、山田委員の意見のとおりで、切磋琢磨しながら活動し、コミュニケーションを取る場面と一人一人が充実した学習活動を行う場面とどのようにリンクさせるかが非常に難しい。一概に一か所に集めて学ぶのがいい時代ではないということも考えられる。ただ、少人数の学校が、インターネットでつなぎ、学習活動をしていくだけでは、〇〇委員のおっしゃるような懸念事項が生じる。皆様には、そのようなことを含めて、これからの本町の教育で、子どもたちをどのように育てていったらいいか、どのような子どもになってほしいかを話し合わせていただき、ご意見をいただきながら進めていければと考えている。</p>
町 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>教育長からお話ありがとうございましたけれど、今後検討する点は、山積みですが、学校規模適正化検討委員会の中で、様々なことが具体的に話し合われていくのかなと思います。全ては、町としてどのように子どもを育てていきたいか、どのように教育していきたいかというところの根幹の部分が大切になってくると思いますので、今後、検討していただければと思いますので、引き続き、よろしく願いいたします。</p> <p>委員の皆様からは、他にご意見等はございますか。よろしいでしょうか。ただ今委員の皆様から頂いた意見等も今後の課題としてしっかりと対応をお願いしたいと思います。</p> <p>これで、議題2「学校規模適正化について」を終了します。</p> <p>以上で、本日の協議事項はすべて終了しました。</p> <p>それでは、事務局の方に振興をお返しします。</p>
4 その他	<p>次第4のその他に移ります。</p> <p>皆さんから何かございますか。(意見等なし)</p>
5 閉 会	<p>以上をもちまして、令和7年度那珂川町総合教育会議を終了いたします。</p>

	す。 (午後2時30分閉会)
	以上、総合教育会議内容に相違ないことを証するため署名する。
	教 育 長
	委 員
	委 員
	委 員
	委 員